

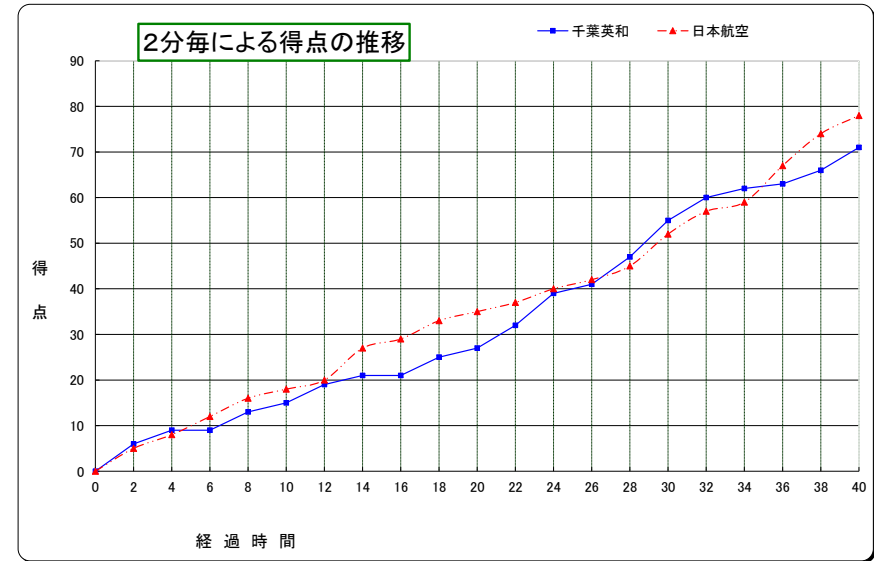
# 令和5年度 第34回関東高等学校 バスケットボール新人大会

令和6年2月3日(土)  
カミケンシルドーム  
準々決勝

チームA <b>千葉英和 (千葉)</b>	<b>71</b>	{	<table border="0"> <tr><td>15</td><td>1st</td><td>18</td></tr> <tr><td>12</td><td>2nd</td><td>17</td></tr> <tr><td>28</td><td>3rd</td><td>17</td></tr> <tr><td>16</td><td>4th</td><td>26</td></tr> </table>	15	1st	18	12	2nd	17	28	3rd	17	16	4th	26	}	<b>78</b>	チームB <b>日本航空 (山梨)</b>
15	1st	18																
12	2nd	17																
28	3rd	17																
16	4th	26																

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	渡部 怜梨	12	0	6	6	17			1	3	7	3			1
5	佐伯 彩	12			6	9	0	2	3		2	4		1	3
6	藤原 千紗	0													
7	崎山 すず	0													
8	中田 葉菜	20	2	8	5	8	4	7	4	1	4	1			3
9	内山 若菜	0													
10	奥津 和香	0													
11	高橋 明朱花	0													
12	灰野 夏未	19	5	10	2	3			4		3	1		1	2
13	北村 紗良	6	0	1	3	6			1	2	3	4			2
14	大生 優羽	2	0	1	1	1									
15	漆戸 花穂	0													
16	杉村 柚	0													
17	藤野 瑠奈	0													
18	小松 海音	0													
コーチ	藤岡 麻菜美														
		71	7	26	23	44	4	9	13	6	19	13	0	2	11
		確率	26.9%		52.3%		44.4%			計 25					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
0	森田 椿彩	4			2	2			1						
5	藤井 花	15	2	5	4	11	1	2							2
8	松久 明未	0													
11	大柴 沙和	11	1	2	3	7	2	4	1	2	4	5		1	3
14	野田 優菜	0													
17	末木 わか	18	4	10	3	7			1	2	5				6
18	原 優月	0													
20	富田 穂生	0													
28	林 姫歌	0													
31	古畑 美咲妃	0													
32	宮下 世凧	0													
39	横 さくら	0													1
42	SOETN OYINKAN	28	1	1	11	14	3	5	5	10	11			1	2
50	那須 寧	2	0	6	1	3			1		4				3
88	戸澤 美智琉	0													
コーチ	逆瀬 川慶浩														
		78	8	24	24	44	6	11	9	14	24	5	0	2	17
		確率	33.3%		54.5%		54.5%			計 38					



**戦評**

第1Q、両チームともにハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。ファーストショットは千葉英和#8のジャンプシュート。序盤は互いに一進一退の攻防が続く。日本航空は、#42のゴール下シュートやリバウンドシュート、千葉英和は#4、#8を起点に攻めて得点を奪っていく。15-18日本航空リードで第1Q終了。

第2Q、千葉英和は#4を中心にドライブからのジャンプシュートなどで攻める。日本航空は、#11のドライブや#42のリバウンドからのジャンプシュートなどで得点を加算していく。その後、日本航空は#11のアシストが冴えわたり、ゴール下のシュートで得点を重ねていく。たまたまタイムアウトは千葉英和。その後も日本航空は#17の3Pや#11のドライブレイアップなどで得点を加算し、引き離しにかかる。27-35と日本航空リードで第2Q終了。

第3Q、反撃に出たい千葉英和は#12の3Pや#5のポストプレーで猛追する。日本航空 #42のゴール下で得点し#17の3Pで再び引き離すが、千葉英和も#4の連続ミドルシュートなどで食らいつつしていく。そして流れは止まらず千葉英和は#8や#5のゴール下シュートでついに逆転に成功。その後もDFから流れを掴み、速い展開から得点を重ねていく。日本航空も#42のポストプレーや3Pで追いかけ、千葉英和が3点リードで第3Q終了。

第4Q、日本航空は#5や#42のシュートで早々に同点に追いつく。千葉英和は、#8や#4のゴール下シュートなどで得点していくが、タイムアウト後に日本航空は#17や#11の3Pで逆転に成功する。残り4分を切ったところでペイントエリアを支配していた#42がファールアウト。しかし、その後も日本航空は#17の得点で点差を引き延ばしていく。千葉英和は#8や#12の3Pで食い下がるが、その後は落ち着いた試合運びを見せる日本航空。そのまま点差は縮まらず、最終スコア71-78で日本航空が勝利した。

Ref	渡邊 諭	1st U	藤林 比登美	2nd U	大野 紗佳
-----	------	-------	--------	-------	-------